

# 西中の風

伊丹市立西中学校長  
大西 規之

## 新聞を読みましょう！！

図書室前廊下に新聞を設置しました。

今年の 4 月に行われた 3 年生対象の全国学力調査・学習状況調査において、「新聞を読んでいますか」という質問に 14.4% の生徒が「毎日読んでいる又は週に 1～3 回程度読んでいる」と回答しました。全国平均を少し上回っていますが、割合としては少なくなっています。また、70.4% の生徒が、「ほとんど又は全く読まない」と回答しました。

インターネットやテレビのニュースを見ているため、新聞を購読していないご家庭も多く、読む機会が少なくなっているようです。そこで、少しでも新聞に触れてもらおうと、図書室前廊下に子ども新聞を含めて 4 紙の新聞をそろえました。ぜひ、この機会に新聞を読んでもらい、新聞の良さを実感してほしいと思います。

新聞を読むと次のような効用があると言われています。①複数の情報を理解したり、総合的に考えたりした上で自分の意見を論理的にまとめる力が身につく。②政治、経済、海外事情、社会、科学、生活、文化、スポーツなど、幅広いジャンルの情報に一挙に触れられる。③今、起きているさまざまな事象にリアルタイムで接することができる。④知識をバランスよく吸収することができる。⑤複数の情報を整理してまとめる力が身につく。⑥それぞれの意見を理解し、その意見に対する自分自身の考えを構築することができる。⑦「社会」や「他者」の存在を意識することができ、さまざまな事象に対してより深い分析や考察ができる。

また、伊丹市の全国学力調査・学習状況調査の結果を見ますと、新聞をほぼ毎日読んでいる生徒とほとんど又は全く読まない生徒では、正答率が国語 A では 8.5p、国語 B では 7.0p、数学 A では 11.5p、数学 B では 12.9p、理科では 8.4p の差が見られます。

今後、多くの生徒が受けるであろう 2020 年度から実施予定の「大学入学共通テスト」でも、※国語では、多様な文章や図表などをもとに、複数の

情報を統合し構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力を評価する。また、数学では、図表やグラフ・文章などを用いて考えたことを数式などで表したり、問題解決の方略などを正しく書き表したりする力などを評価するということになるようです。

(※文部科学省 HP「大学入学共通テスト」について、文部科学省「大学入学共通テスト実施方針」より)

新聞を読んでもいれば、大学入試対策にもなるようです。ぜひ、図書室前の廊下に新聞を設置していますので、読んでみてください。



日々ホームページ更新中！！







